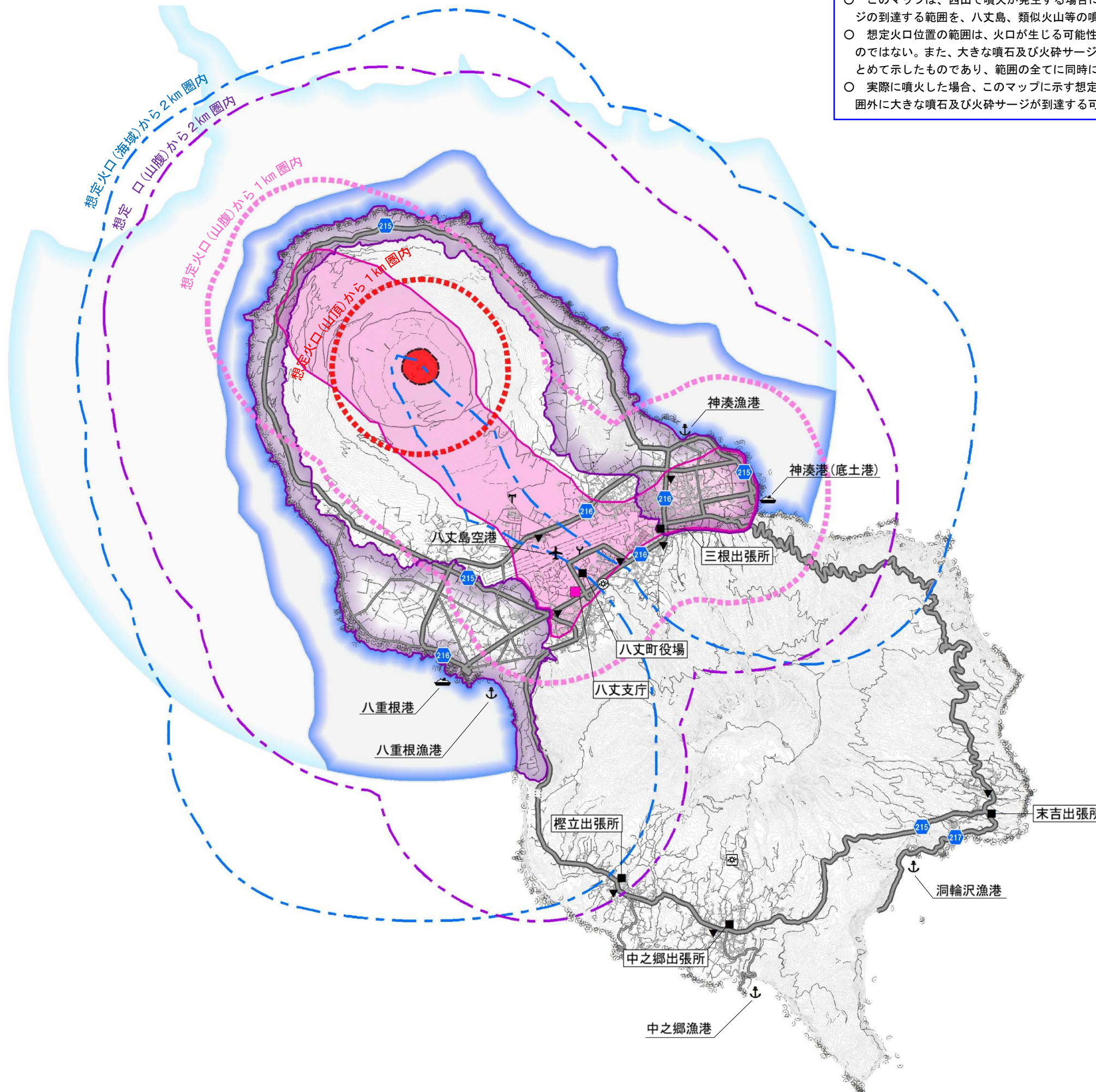


八丈島火山ハザードマップ（想定火口位置、大きな噴石、火砕サージ）

マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生する場合に火口が生じる範囲（想定火口位置）、大きな噴石及び火砕サージの到達する範囲を、八丈島、類似火山等の噴火実績に基づいて予測したものである。
- 想定火口位置の範囲は、火口が生じる可能性のある範囲を示したものであり、範囲の全てで同時に生じるものではない。また、大きな噴石及び火砕サージの到達する範囲は、想定火口位置から発生した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す想定火口位置の範囲外に火口が生じる可能性がある。また、到達範囲外に大きな噴石及び火砕サージが到達する可能性がある。



<凡例（火山現象）>

	想定火口位置	到達範囲
マグマ噴火	山頂	大きな噴石 (1km圏内)
	山腹	大きな噴石 (1km圏内)
マグマ水蒸気噴火	山腹	大きな噴石 (2km圏内)
	海域 (水深100m以浅)	大きな噴石 火砕サージ (2km圏内)
	海域 (水深400m以浅)	※水深400m以浅では、海面に噴煙等による影響が発生する可能性がある。

<凡例（施設）>

	支庁
	町役場・出張所
	消防署
	警察署・駐在所・派出所
	特別地域気象観測所
	都道
	主要な町道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所
	地熱発電所

八丈島火山ハザードマップ（火山灰(小さな噴石を含む。) : 4,000万 DREm³)

マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山頂火口から4,000万DREm³の火山灰(小さな噴石を含む。以下同様)が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布(カラー表示)は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例(火山現象)>

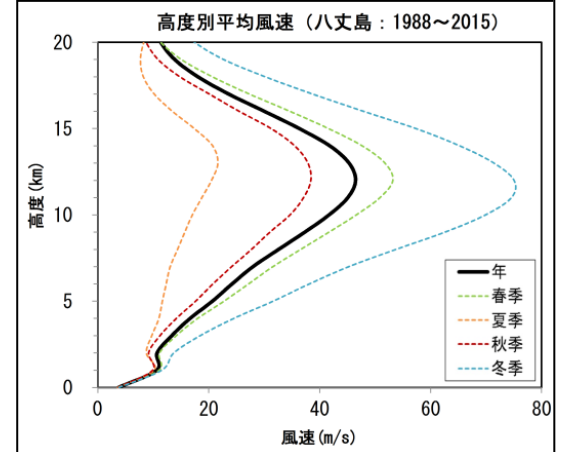
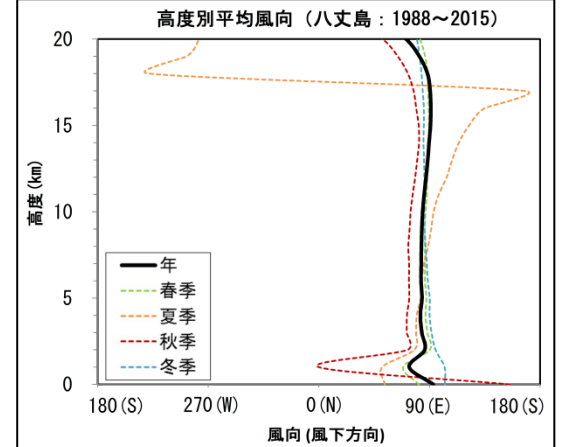
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積
	20cm以上堆積

<凡例(施設)>

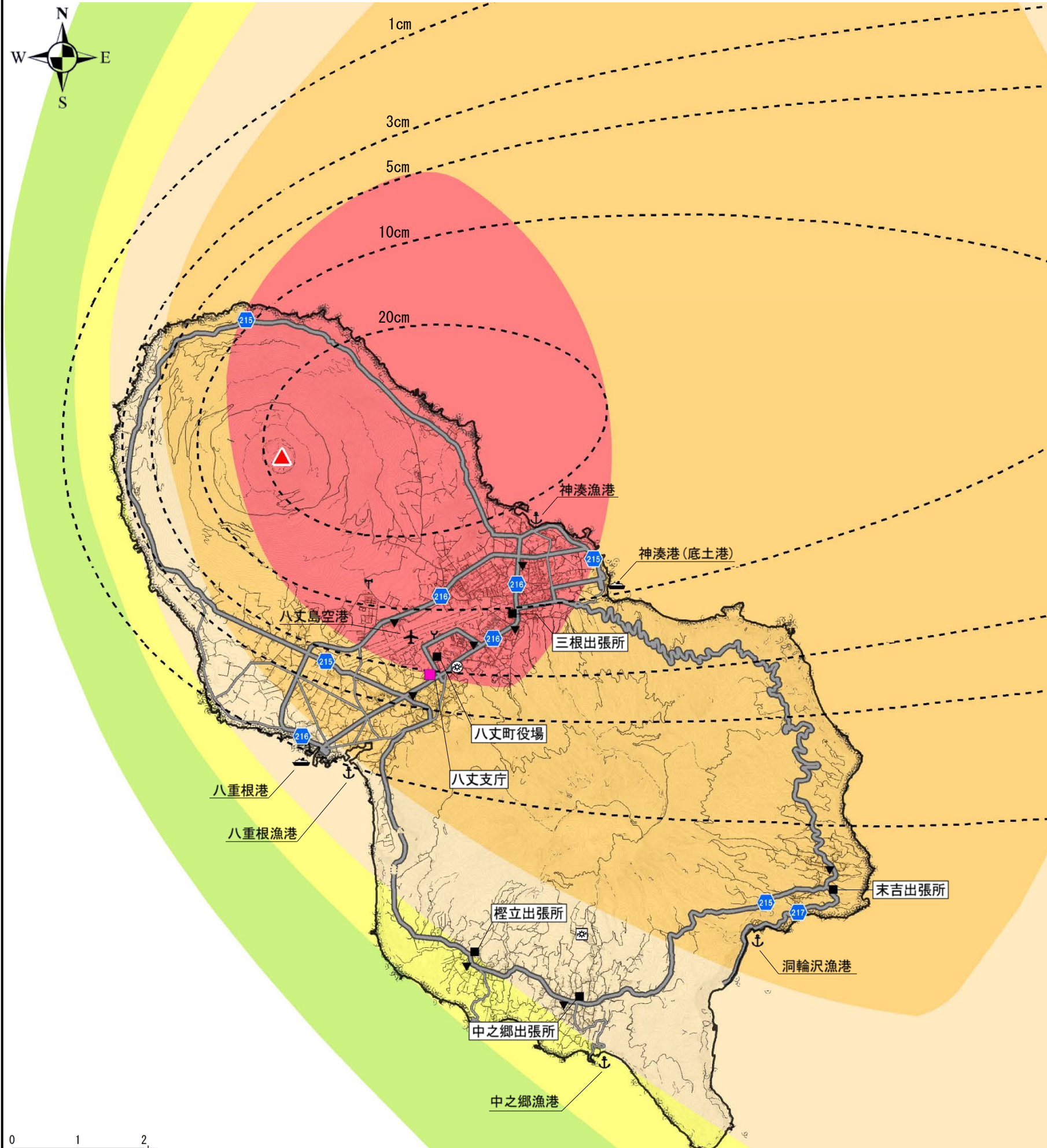
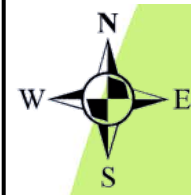
支庁	■
町役場・出張所	■
消防署	⌋
警察署・駐在所・派出所	▼
特別地域気象観測所	⊥
都道	●
主要な町道	—
港湾	⚓
漁港	⚓
空港	✈
内燃力発電所	⊙
地熱発電所	⊙

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量(見かけ体積)	1億m ³
噴出量(DRE体積)	4,000万m ³
噴煙柱高度	17.5km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ(1988~2015年のデータ)
風速	高度別年平均風速



※風のデータは八丈島特別地域気象観測所の観測値を使用



八丈島火山ハザードマップ（火山灰(小さな噴石を含む。) : 1,600万 DREm³)

マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山頂火口から1,600万DREm³の火山灰(小さな噴石を含む。以下同様)が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布(カラー表示)は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例(火山現象)>

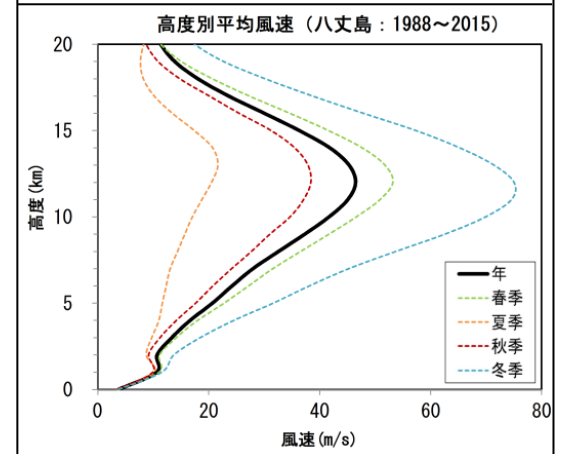
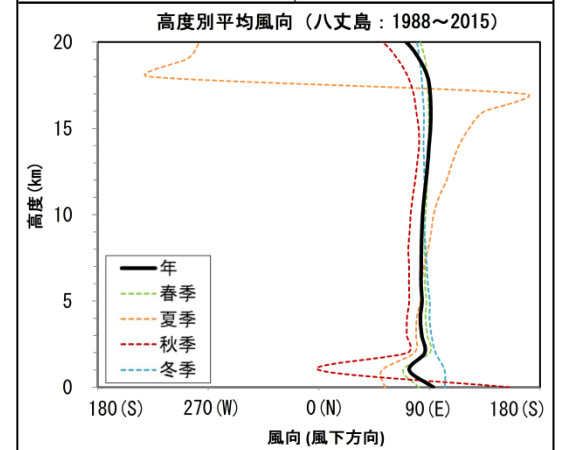
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	■ 1cm以上堆積
	■ 3cm以上堆積
	■ 5cm以上堆積
	■ 10cm以上堆積

<凡例(施設)>

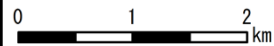
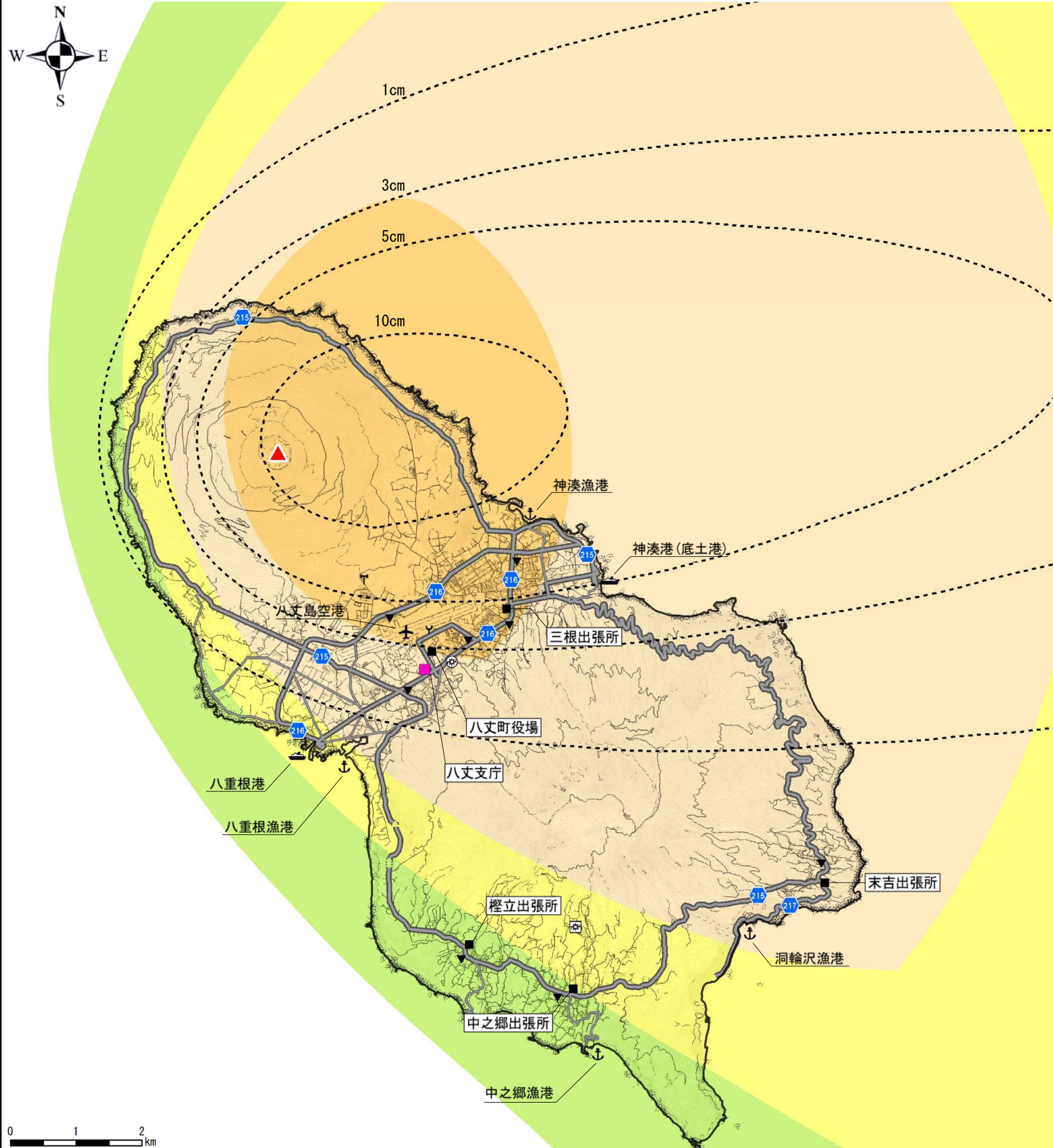
■	支庁
■	町役場・出張所
ㄣ	消防署
▼	警察署・駐在所・派出所
⊥	特別地域気象観測所
⦶	都道
—	主要な町道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊛	内燃力発電所
⊛	地熱発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量(見かけ体積)	4,000万m ³
噴出量(DRE体積)	1,600万m ³
噴煙柱高度	14.8km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ(1988~2015年のデータ)
風速	高度別年平均風速



※風のデータは八丈島特別地域気象観測所の観測値を使用



八丈島火山ハザードマップ（火山灰(小さな噴石を含む。) : 400万 DREm³)

マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山頂火口から400万DREm³の火山灰(小さな噴石を含む。以下同様)が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布(カラー表示)は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例(火山現象)>

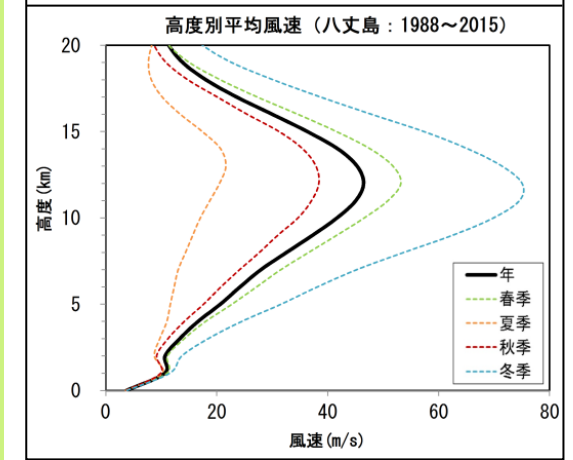
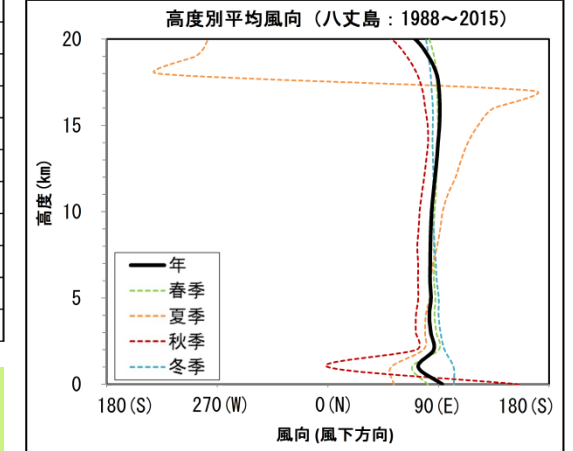
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	■ 1cm以上堆積
	■ 3cm以上堆積

<凡例(施設)>

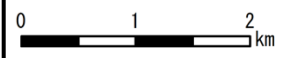
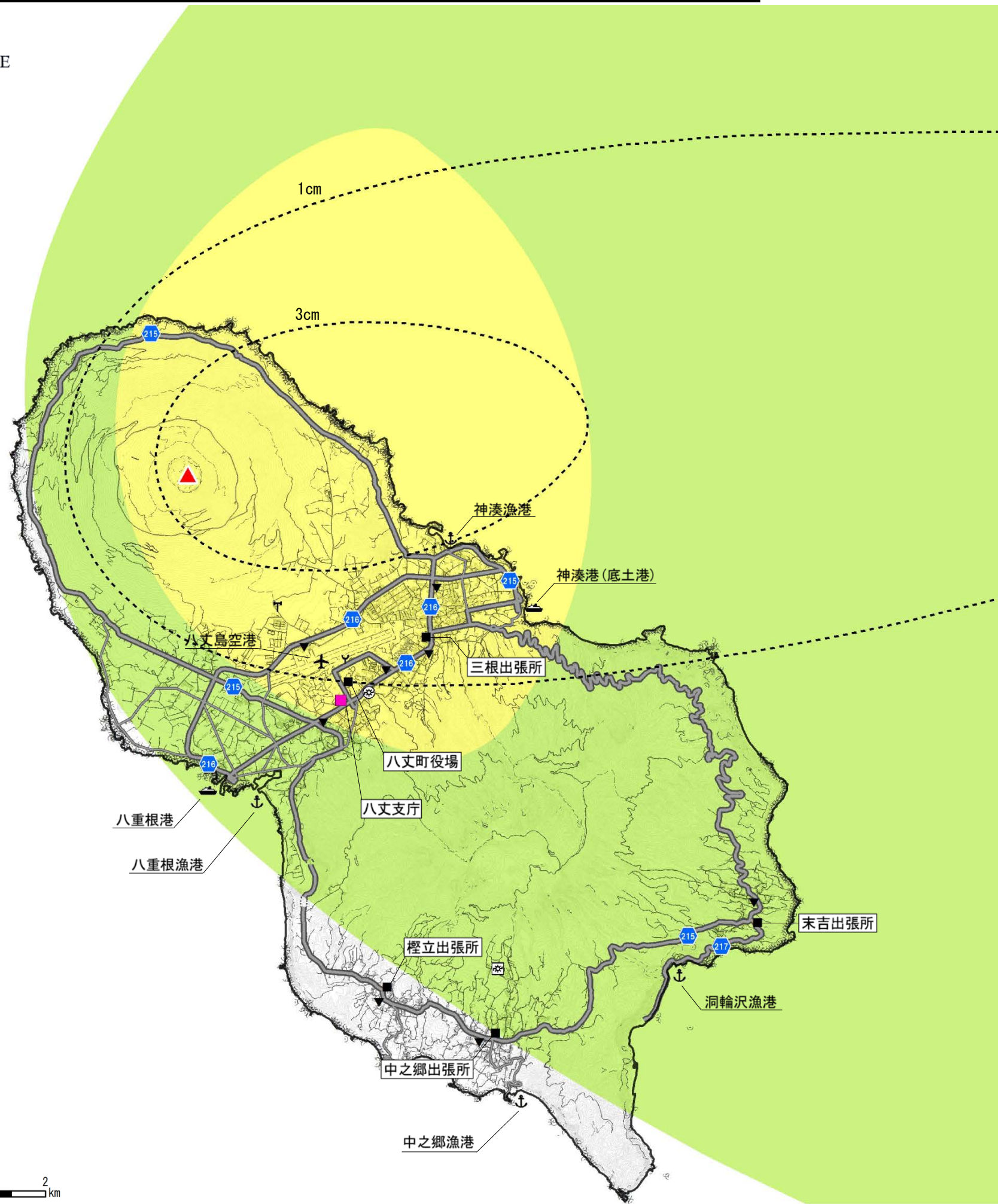
■	支庁
■	町役場・出張所
Y	消防署
▼	警察署・駐在所・派出所
T	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
✈	空港
⊕	内火力発電所
⊗	地熱発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量(見かけ体積)	1,000万m ³
噴出量(DRE体積)	400万m ³
噴煙柱高度	10.8km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ(1988~2015年のデータ)
風速	高度別年平均風速



※風のデータは八丈島特別地域気象観測所の観測値を使用



この地図は、国土地理院長の承認(平19国地関公第377号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(28都市基交第104号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山頂火口・4,000万 DREm³）

マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山頂火口から4,000万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、山頂火口の火口壁が最も低い北側から溶岩が流出した場合のシミュレーション結果を基に、エネルギーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

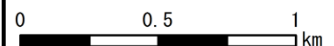
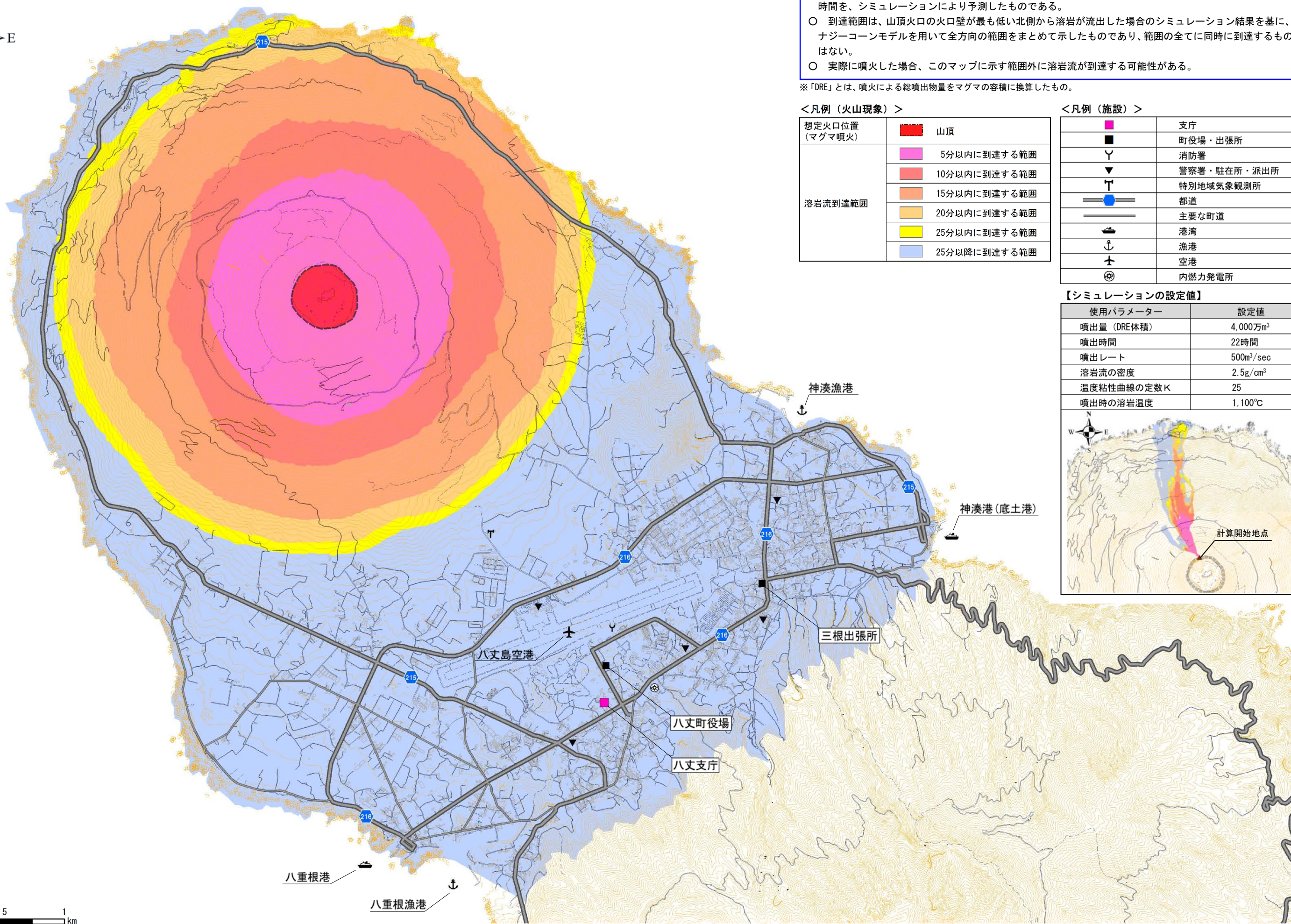
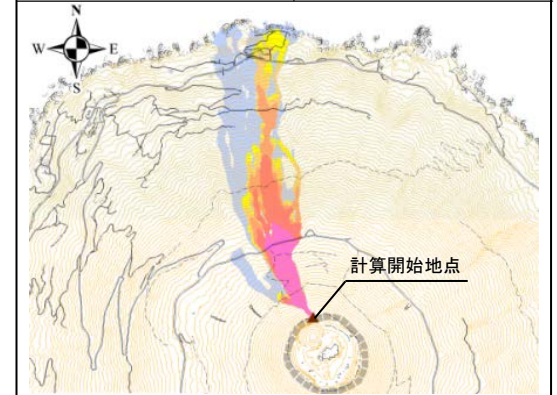
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
溶岩流到達範囲	■ 5分以内に到達する範囲
	■ 10分以内に到達する範囲
	■ 15分以内に到達する範囲
	■ 20分以内に到達する範囲
	■ 25分以内に到達する範囲
	■ 25分以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
Y	消防署
▼	警察署・駐在所・派出所
T	特別地域気象観測所
—●—	都道
—	主要な町道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊗	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	4,000万m ³
噴出時間	22時間
噴出レート	500m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



この地図は、国土地理院長の承認（平19国地関公第377号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（28都市基交第104号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（中腹部）・4,000万 DREm³）

※計算開始地点 1 2 3 5 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から4,000万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（1, 2, 3, 5）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

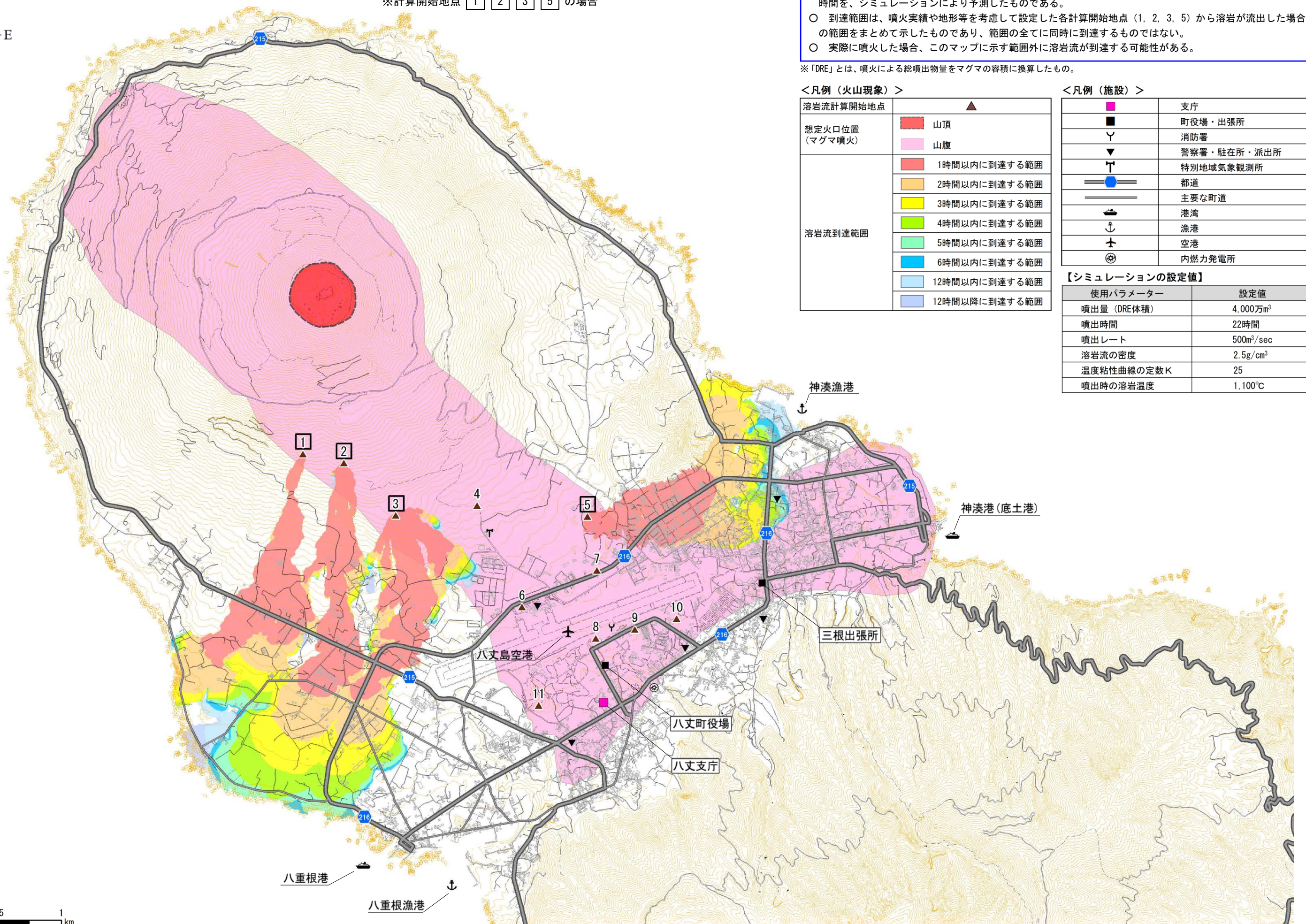
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 1時間以内に到達する範囲
	■ 2時間以内に到達する範囲
	■ 3時間以内に到達する範囲
	■ 4時間以内に到達する範囲
	■ 5時間以内に到達する範囲
	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内火力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	4,000万m ³
噴出時間	22時間
噴出レート	500m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（山麓部）・4,000万 DREm³）

※計算開始地点 6 7 8 10 11 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から4,000万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（6、7、8、10、11）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

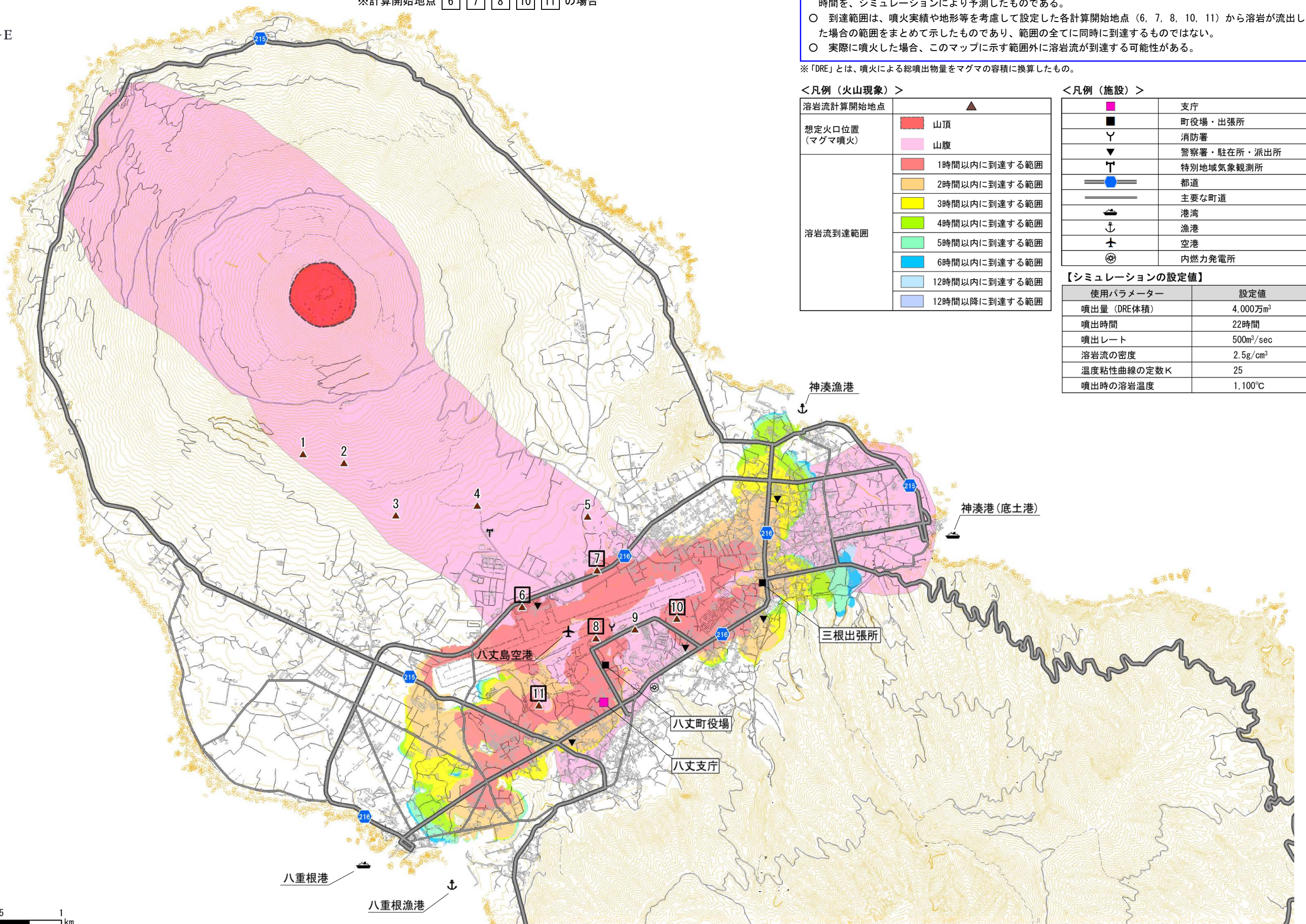
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 1時間以内に到達する範囲
	■ 2時間以内に到達する範囲
	■ 3時間以内に到達する範囲
	■ 4時間以内に到達する範囲
	■ 5時間以内に到達する範囲
	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	4,000万m ³
噴出時間	22時間
噴出レート	500m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（東西の分水界）・4,000万DREm³）

※計算開始地点 4 9 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から4,000万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（4、9）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

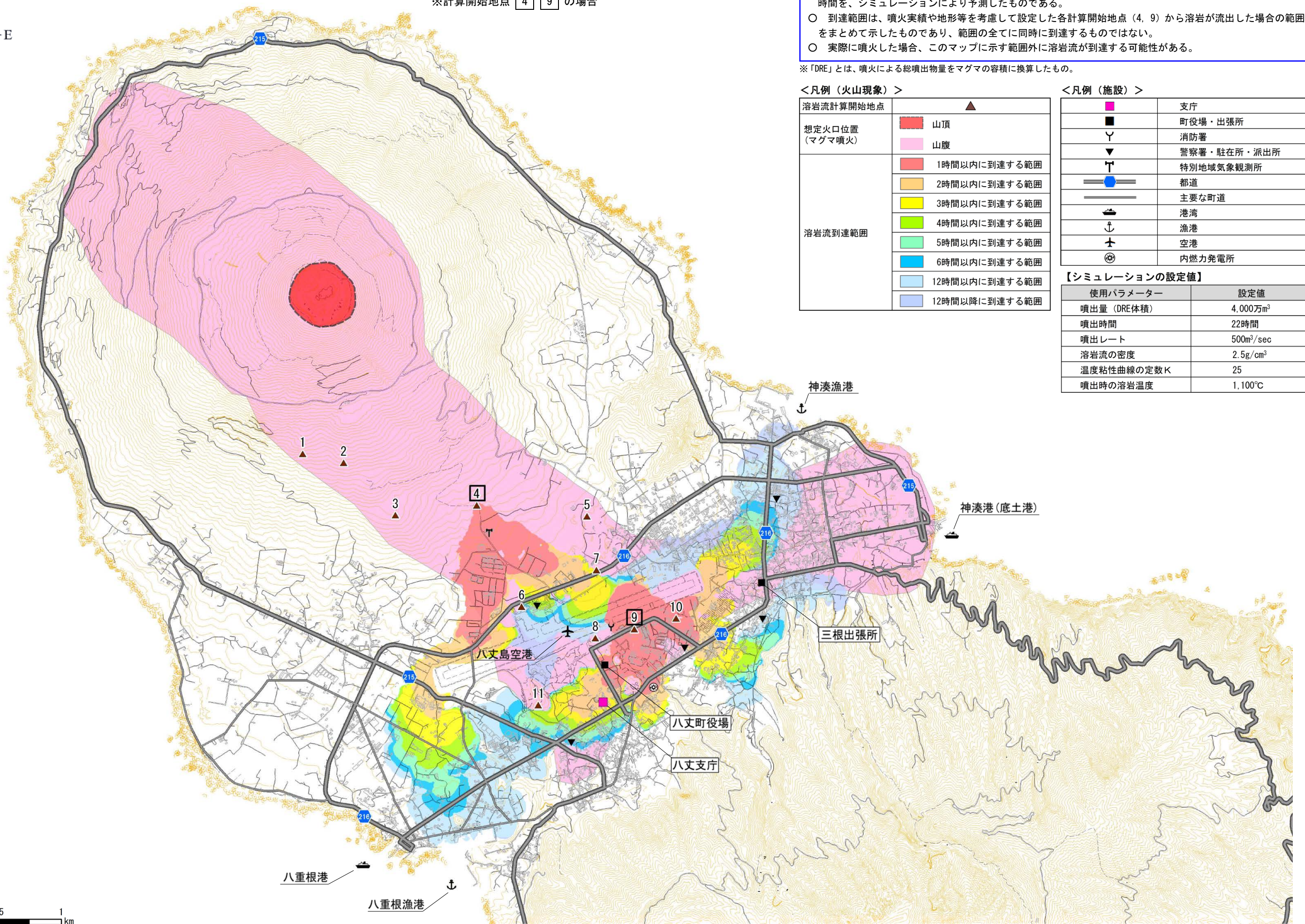
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 1時間以内に到達する範囲
	■ 2時間以内に到達する範囲
	■ 3時間以内に到達する範囲
	■ 4時間以内に到達する範囲
	■ 5時間以内に到達する範囲
	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内然力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	4,000万m ³
噴出時間	22時間
噴出レート	500m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

この地図は、国土地理院長の承認（平19国地関公第377号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（28都市基交第104号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山頂火口・1,600万 DREm³）

マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山頂火口から1,600万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、山頂火口の火口壁が最も低い北側から溶岩が流出した場合のシミュレーション結果を基に、エネルギーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

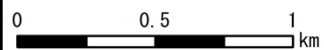
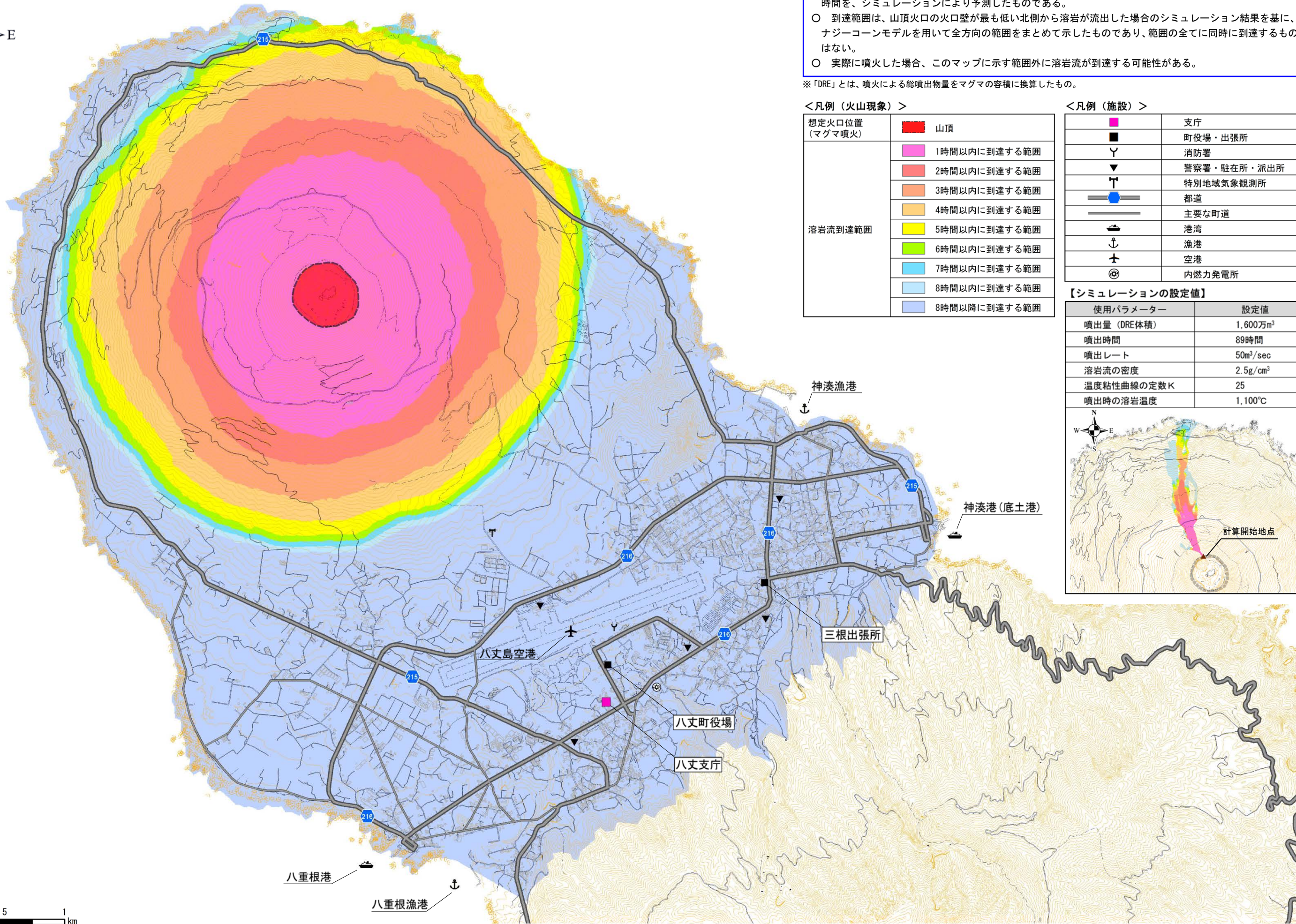
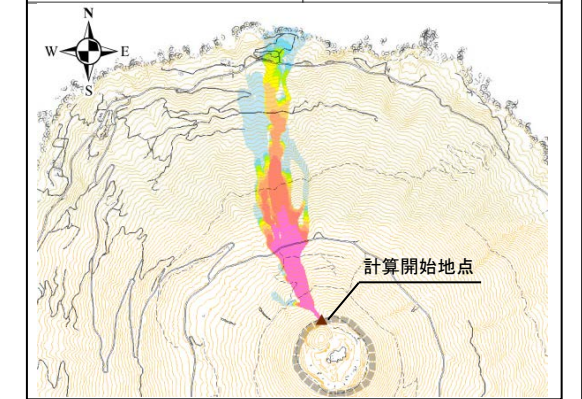
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
溶岩流到達範囲	■ 1時間以内に到達する範囲
	■ 2時間以内に到達する範囲
	■ 3時間以内に到達する範囲
	■ 4時間以内に到達する範囲
	■ 5時間以内に到達する範囲
	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 7時間以内に到達する範囲
	■ 8時間以内に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
Y	消防署
▼	警察署・駐在所・派出所
T	特別地域気象観測所
■	都道
—	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
⊗	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	1,600万m ³
噴出時間	89時間
噴出レート	50m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（中腹部）・1,600万 DREm³）

※計算開始地点 1 2 3 5 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から1,600万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（1, 2, 3, 5）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

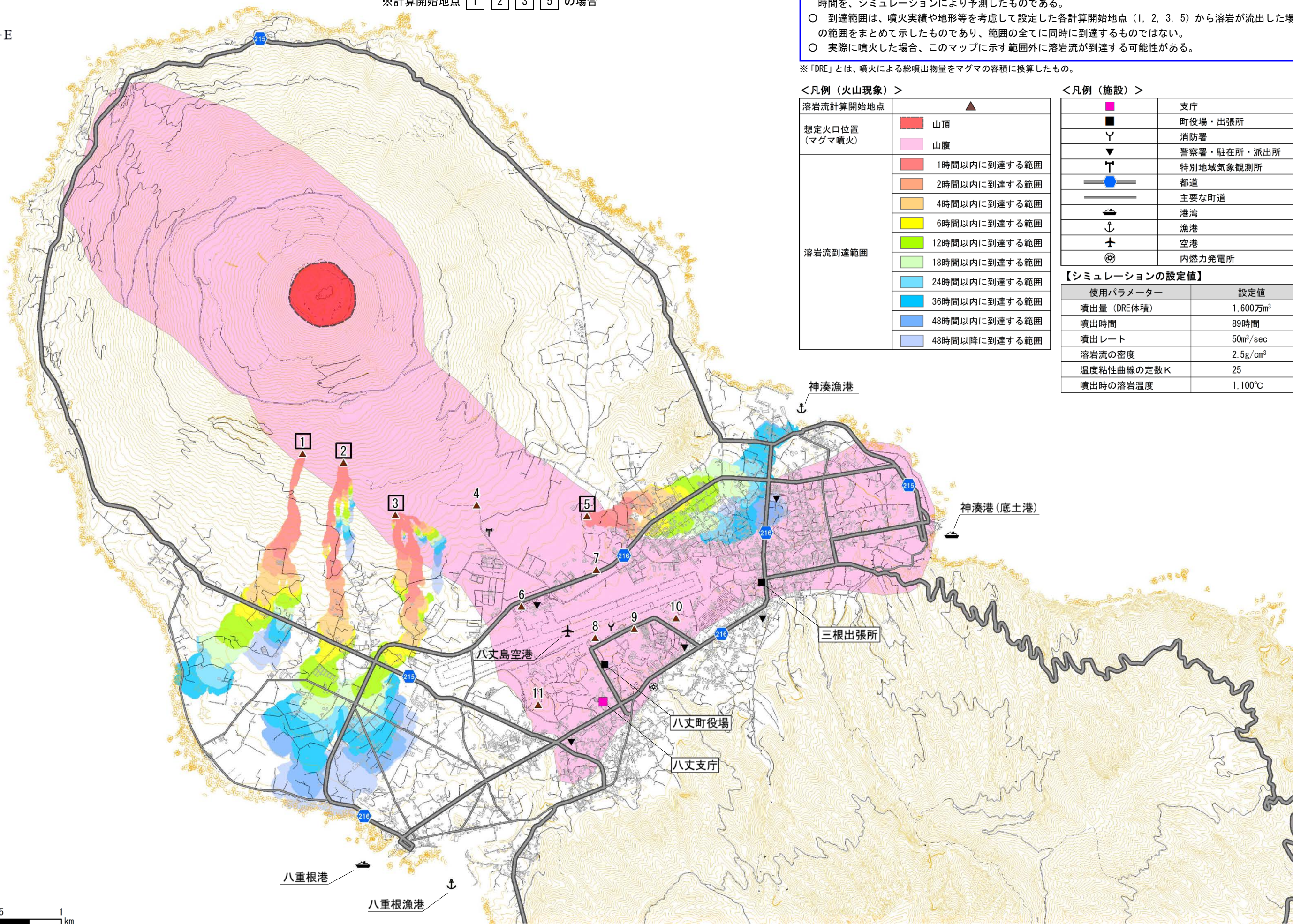
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 1時間以内に到達する範囲
	■ 2時間以内に到達する範囲
	■ 4時間以内に到達する範囲
	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 18時間以内に到達する範囲
	■ 24時間以内に到達する範囲
	■ 48時間以内に到達する範囲
	■ 48時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内然力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	1,600万m ³
噴出時間	89時間
噴出レート	50m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

この地図は、国土地理院長の承認（平19国地関公第377号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（28都市基交第104号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（山麓部）・1,600万 DREm³）

※計算開始地点 6 7 8 10 11 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から1,600万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（6, 7, 8, 10, 11）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

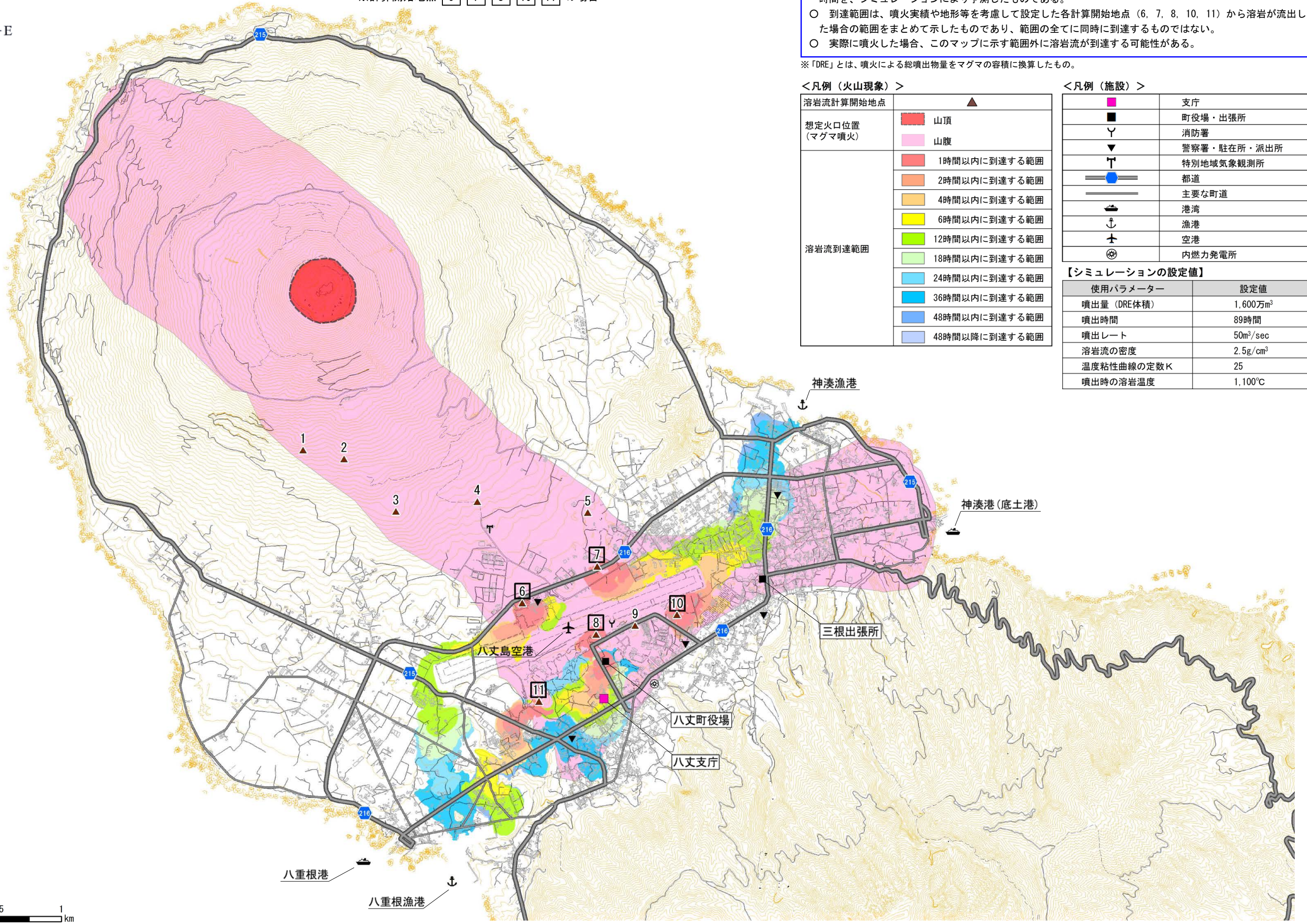
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 1時間以内に到達する範囲
	■ 2時間以内に到達する範囲
	■ 4時間以内に到達する範囲
	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 18時間以内に到達する範囲
	■ 24時間以内に到達する範囲
	■ 36時間以内に到達する範囲
■ 48時間以内に到達する範囲	
■ 48時間以降に到達する範囲	

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内火力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	1,600万m ³
噴出時間	89時間
噴出レート	50m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（東西の分水界）・1,600万 DREm³）

※計算開始地点 4 9 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から1,600万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（4、9）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

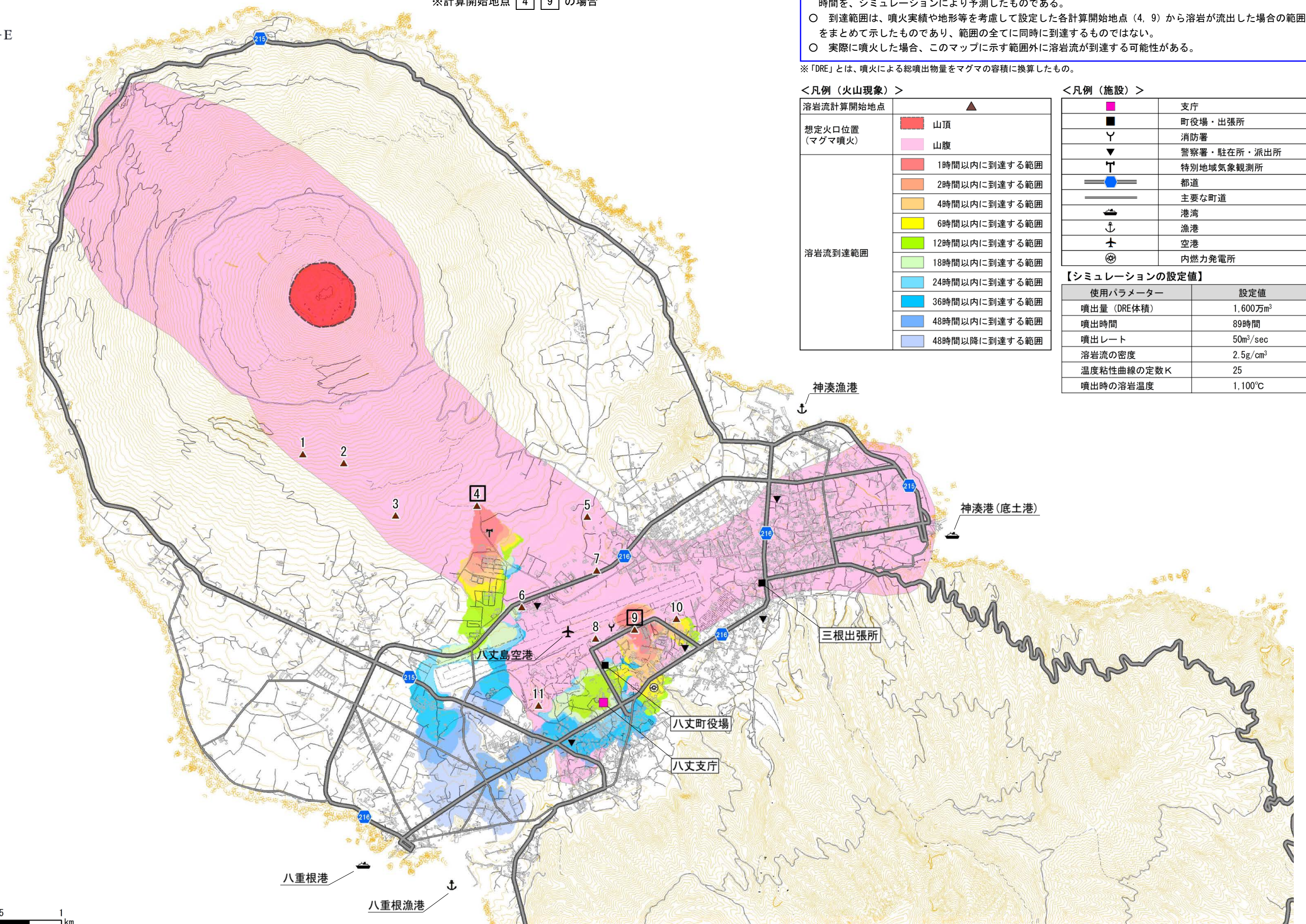
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 1時間以内に到達する範囲
	■ 2時間以内に到達する範囲
	■ 4時間以内に到達する範囲
	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 18時間以内に到達する範囲
	■ 24時間以内に到達する範囲
	■ 36時間以内に到達する範囲
■ 48時間以内に到達する範囲	
■ 48時間以降に到達する範囲	

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内然力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	1,600万m ³
噴出時間	89時間
噴出レート	50m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山頂火口・400万 DREm³）

マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山頂火口から400万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、山頂火口の火口壁が最も低い北側から溶岩が流出した場合のシミュレーション結果を基に、エネルギーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

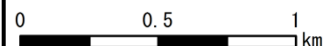
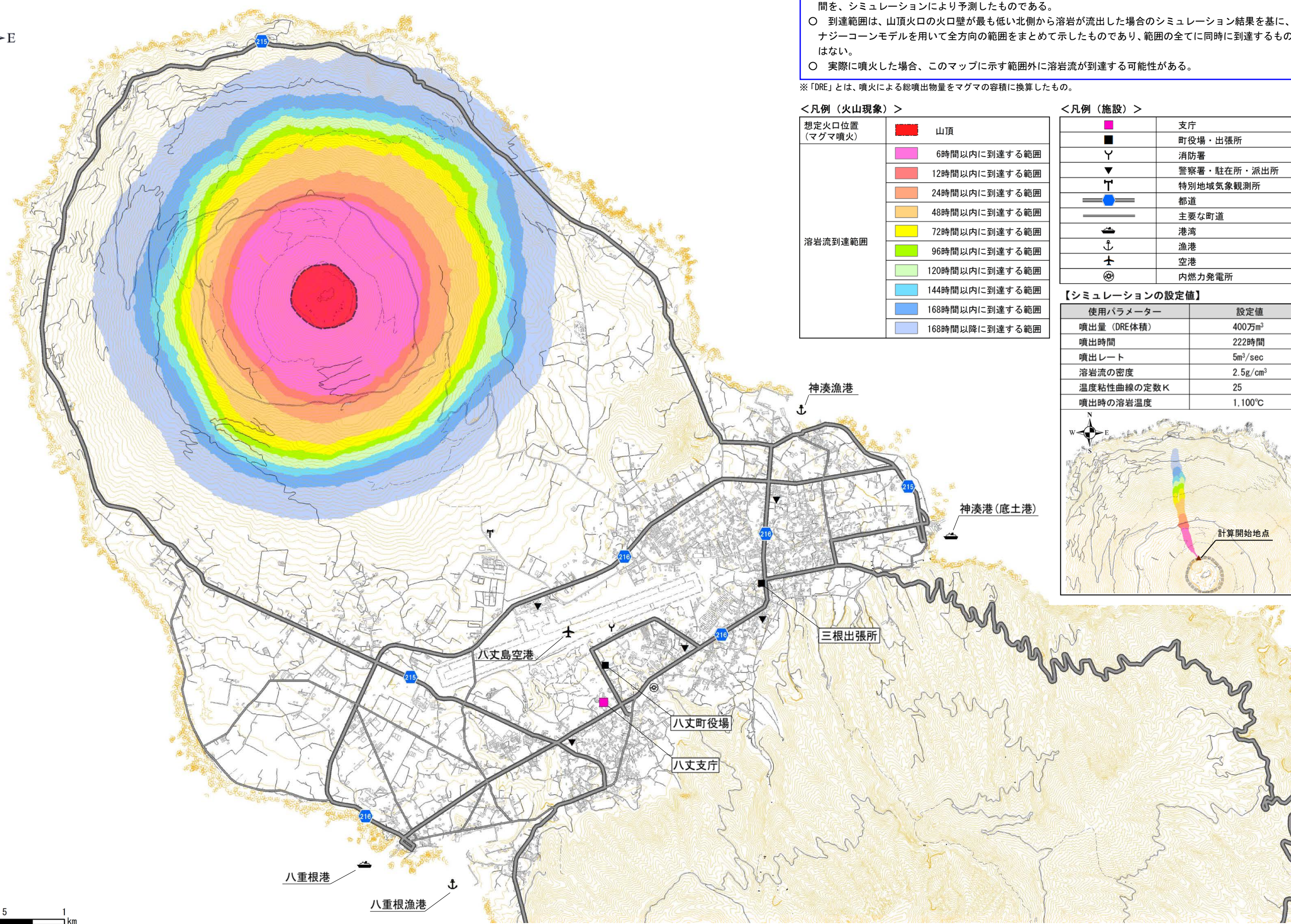
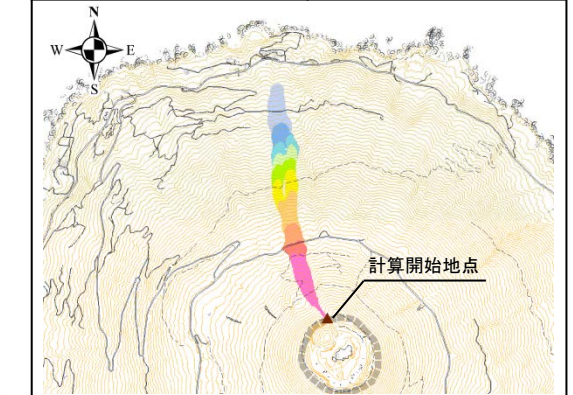
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
溶岩流到達範囲	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 24時間以内に到達する範囲
	■ 48時間以内に到達する範囲
	■ 72時間以内に到達する範囲
	■ 96時間以内に到達する範囲
	■ 120時間以内に到達する範囲
	■ 144時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
Y	消防署
▼	警察署・駐在所・派出所
T	特別地域気象観測所
—●—	都道
—	主要な町道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	400万m ³
噴出時間	222時間
噴出レート	5m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



この地図は、国土地理院長の承認（平19国地関公第377号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（28都市基交第104号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（中腹部）・400万 DREm³）

※計算開始地点 1 2 3 5 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から400万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（1、2、3、5）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

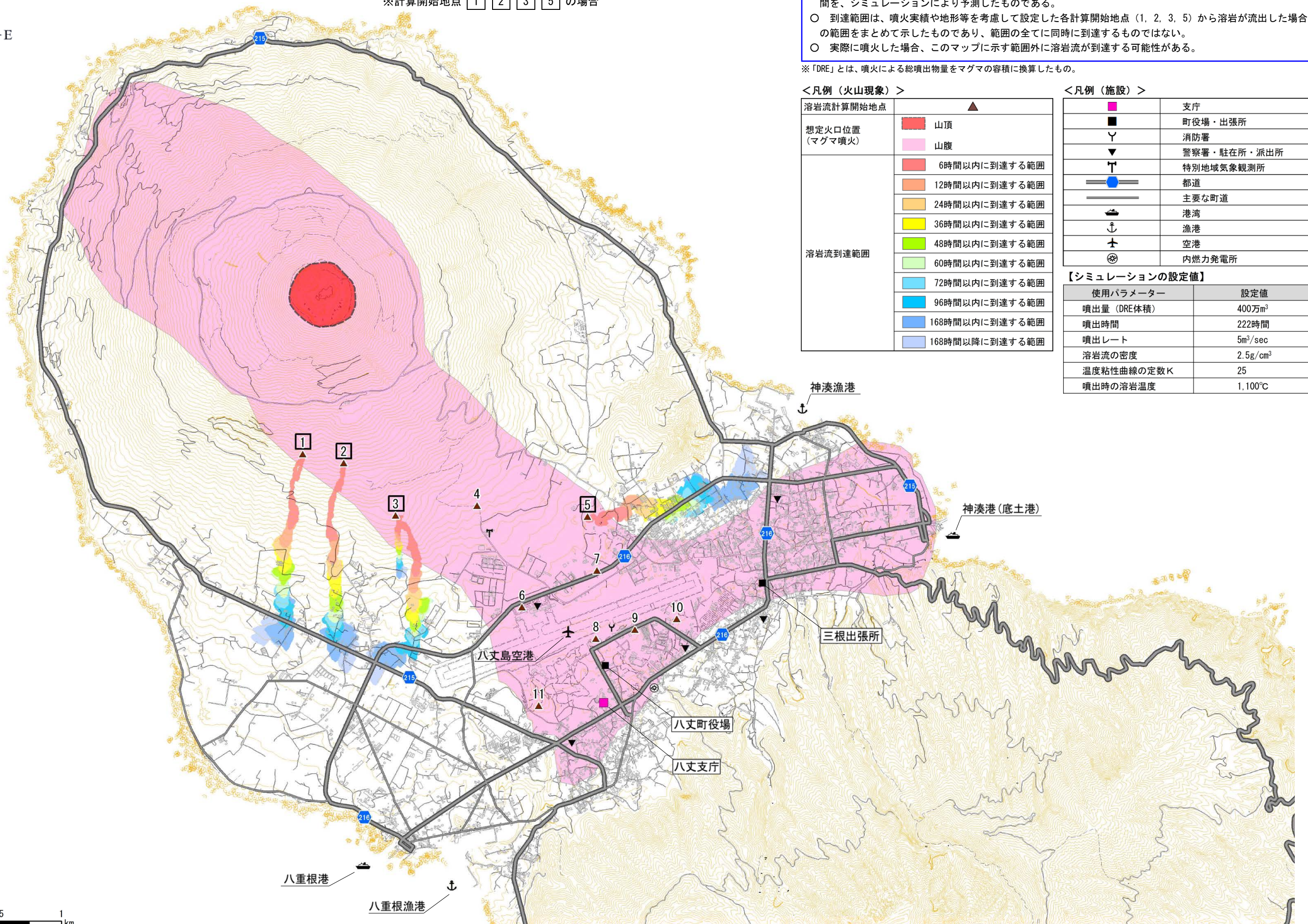
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 24時間以内に到達する範囲
	■ 36時間以内に到達する範囲
	■ 48時間以内に到達する範囲
	■ 60時間以内に到達する範囲
	■ 72時間以内に到達する範囲
	■ 96時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内然力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	400万m ³
噴出時間	222時間
噴出レート	5m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（山麓部）・400万 DREm³）

※計算開始地点 6 7 8 10 11 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から400万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（6、7、8、10、11）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

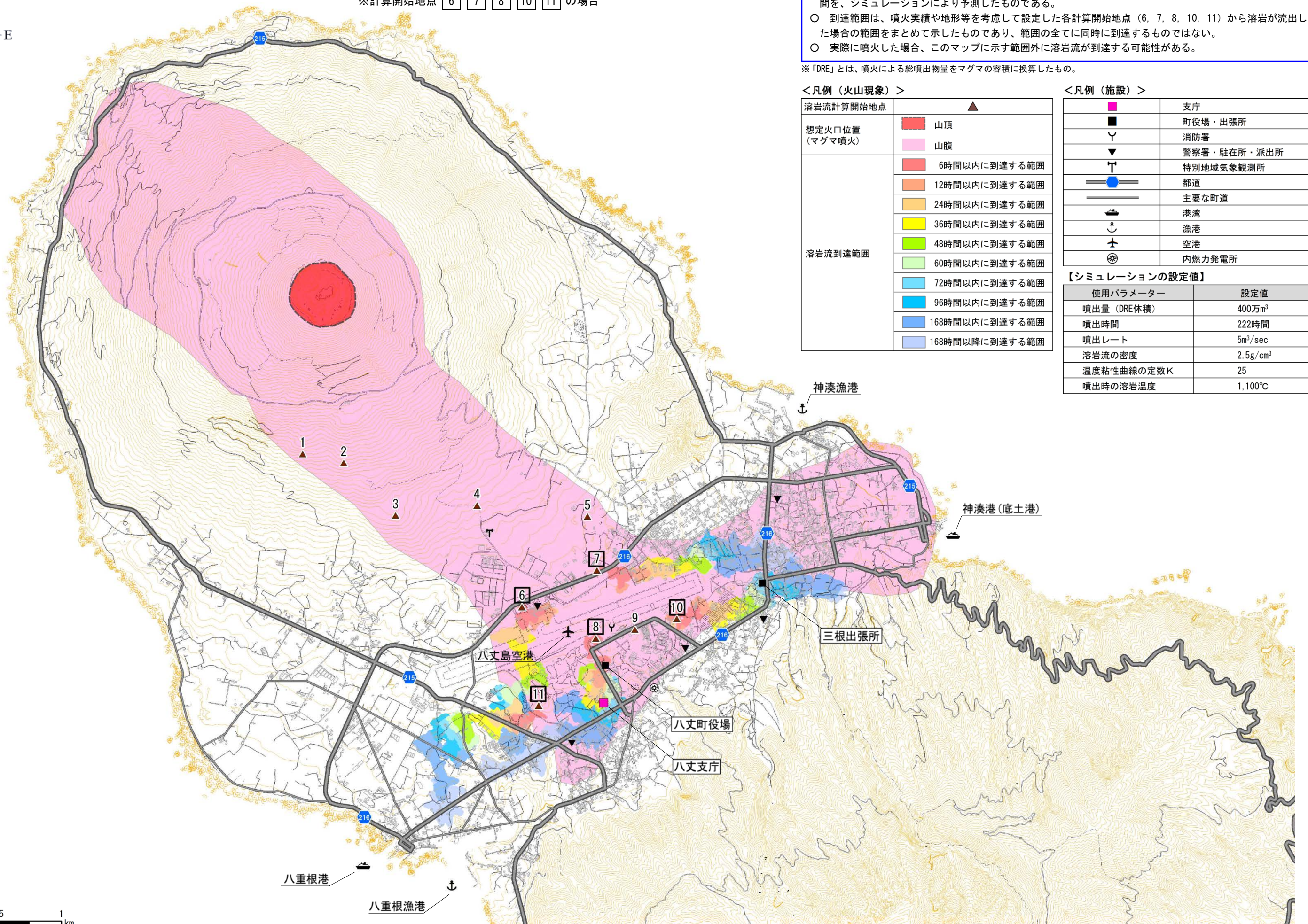
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 24時間以内に到達する範囲
	■ 36時間以内に到達する範囲
	■ 48時間以内に到達する範囲
	■ 60時間以内に到達する範囲
	■ 72時間以内に到達する範囲
	■ 96時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	400万m ³
噴出時間	222時間
噴出レート	5m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km

この地図は、国土地理院長の承認（平19国地関公第377号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（28都市基交第104号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

八丈島火山ハザードマップ（溶岩流：山腹火口（東西の分水界）・400万DREm³）

※計算開始地点 4 9 の場合



マップの見方

- このマップは、西山で噴火が発生し、山腹火口から400万DREm³の溶岩が流出した場合に到達する範囲及び時間を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、噴火実績や地形等を考慮して設定した各計算開始地点（4、9）から溶岩が流出した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す範囲外に溶岩流が到達する可能性がある。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

<凡例（火山現象）>

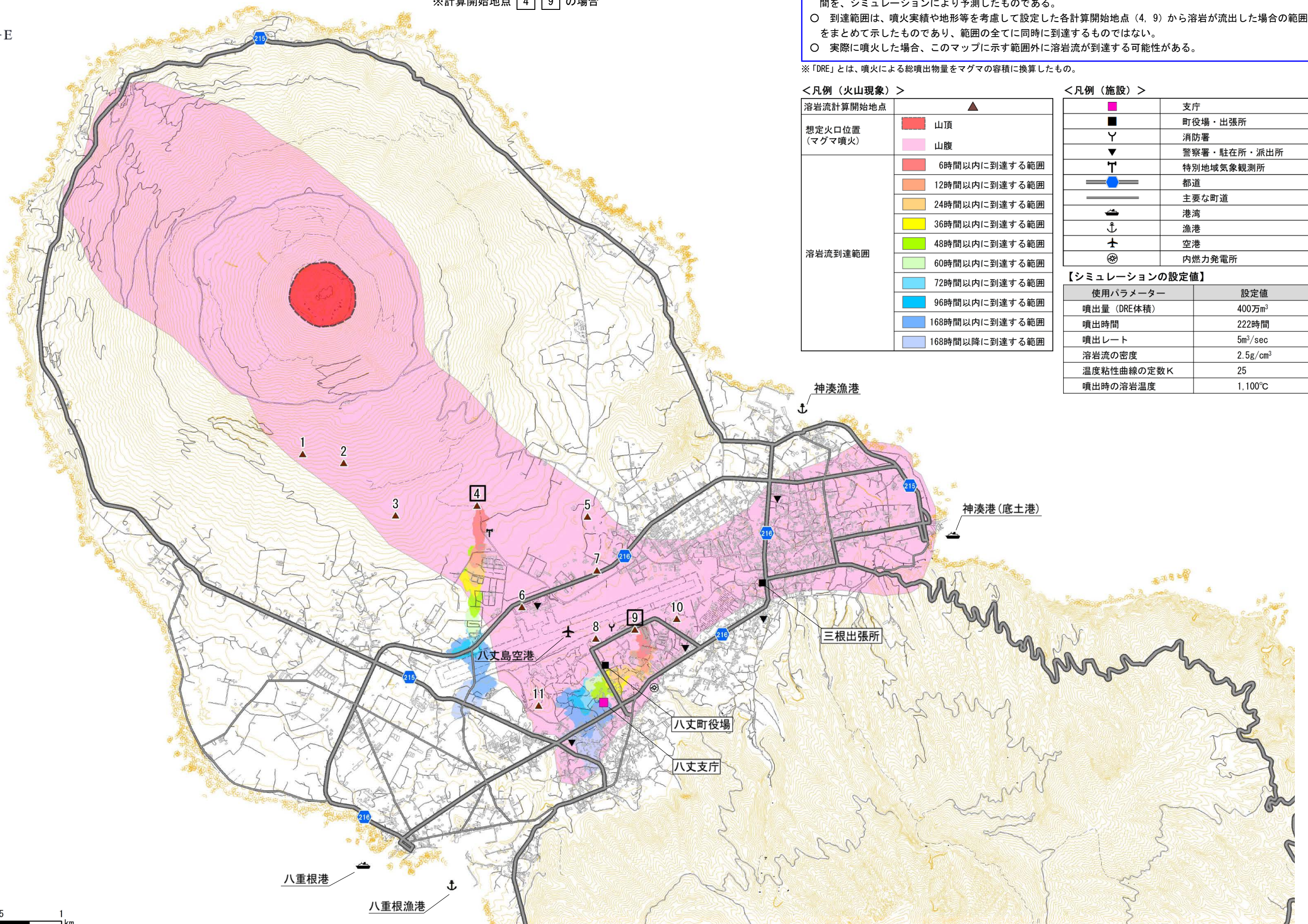
溶岩流計算開始地点	▲
想定火口位置 (マグマ噴火)	■ 山頂
	■ 山腹
溶岩流到達範囲	■ 6時間以内に到達する範囲
	■ 12時間以内に到達する範囲
	■ 24時間以内に到達する範囲
	■ 36時間以内に到達する範囲
	■ 48時間以内に到達する範囲
	■ 60時間以内に到達する範囲
	■ 72時間以内に到達する範囲
	■ 96時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以内に到達する範囲
	■ 168時間以降に到達する範囲

<凡例（施設）>

■	支庁
■	町役場・出張所
■	消防署
■	警察署・駐在所・派出所
■	特別地域気象観測所
■	都道
■	主要な町道
■	港湾
■	漁港
■	空港
■	内然力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメーター	設定値
噴出量（DRE体積）	400万m ³
噴出時間	222時間
噴出レート	5m ³ /sec
溶岩流の密度	2.5g/cm ³
温度粘性曲線の定数K	25
噴出時の溶岩温度	1,100℃



0 0.5 1 km